



町長日誌 No.141

町長日誌の第141号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

7月19日(日)PM1:15

今朝9時半から沙留保育所の運動会が開催されました。先週12日には興部保育所の運動会が行われましたが、12日は長く続いた低温から急に暑くなり30℃近い気温のため、園児たちの体調管理が大変でした。今日も好天で気温も高かったのですが沙留保育所は浜風が入るので、心地よく、正に運動会日和の一日でした。1歳児から5歳児まで、泣きべそをかく子もいましたが、休んだ子もなく、家族や来賓も借り物競争や大玉ころがしリレーに参加するなど楽しい運動会でした。両方の保育所運動会でお手伝いを頂いたお父さんお母さん、そしてご出席くださいました来賓の皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

6月30日(火)

興部町防災会議を開催しました。今年に入り日本中と言っても過言でないくらい火山の噴火、地震、台風の被害が多発しています。4年前の3・11大震災の津波が町や田畑に次々に飲み込んでいくあの映像が今でも思い出されます。興部町も平成10年に大雨による河川の氾濫により数十億円に上る災害復旧を経験し、1週間以上に及ぶ断水のため自衛隊の給水支援を頂きました。あれから、17年が経過しますが、これまでも大雨被害や、今大きな問題となっています低気圧による大時化により発生したホタテの死滅被害など様々な災害が発生しています。幸いにも人命への被害などは発生していませんが、平成16年9月8日に発生した爆弾低気圧による大風災害では町内約400戸で屋根が飛ぶなどの家屋被害が発生し、長期間の停電から乳牛の淘汰や加工場の冷蔵品の廃棄などの被害が発生しています。

町は、防災や災害対応の指針となる「町防災計画」を平成12年の一部改正以降見直しをしていませんでしたが、3・11以降津波への対応など国や北海道の防災計画が次々見直されていますので、今年度町の防災計画を全面改正し、最新の対応策を盛り込んだ計画をつくる事にしました。また、本町には1万1千頭の牛がいますので、近年問題となっている鳥インフルエンザや口蹄疫等の家畜伝染病に対する対応策も盛り込んだ計画づくりをすることにしました。この計画策定のため、町内の各種団体や官公庁の出先機関、さらには振興局や海上保安庁、遠軽自衛隊にも代表者のご出席を頂き、この会議を3回ほど開催しまして新しい防災計画をつくる予定です。

7月4日(日)

北見市に林農林水産大臣が来られ、管内の期成会で要望会を開催しましたので、私も出席しまして、酪農・畜産の事業予算の充実を要望しました。特に現在協議中のTPP協議が大詰めとなっており今月末には合意との噂もあるなかで、草地の改良や暗渠排水などの事業（これらを農業基盤整備事業と言う）予算は昨年度から大幅に削減されていますので、この予算の増加と本道で年に200戸もの離農が進む酪農・畜産への長期的政策の実現を要請しました。大臣には上京してもなかなかお会い出来ないのが、北見で直接お話をする機会が出来た事は幸いでした。

先日、ある町民の方からお手紙を頂きました。その方は、猫アレルギーの方なのですが、隣では沢山の猫を飼っていてその臭いで困っているということでした。犬は狂犬病や法律での縛りがあり、放し飼いは出来ませんが、猫の場合はこの決まりがありません。この方は町が条例で何とかしてほしいと訴えているのですが、実際にはかなり難しい事です。毎年春になると農家には捨て猫が迷い込みます。中には首輪を付けた猫もいます。転動や転居の時に郊外に捨てて行く人が結構多いので、私はこの方のお気持ちはよく分かります。しかし、隣近所のいさかきもペットのトラブルから始まる事も多いと言います。今やペットは家族と言う方も多く、ペット用品売り場も人並みに拡大しているほどですが、人並みであれば人同士の問題と考え、やはりペットを飼う人もご近所に迷惑を掛けない心配りや普段からの声掛けが大切なのでは？と考えますし、動物が嫌いな人はそのことをお隣に伝えることも必要ではないでしょうか？何でも規則や法律で解決するものではないと思います。出来るだけ近所がよく話をしていただき、ルールを守ったペットの飼育をお願いしたいと思います。

さて、寒くなったり、暑くなったり不順な天候が続きます。体調管理に十分ご自愛ください。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。